

永く愛される

ロングセラー商品づくり

～個々のファンづくりに向けて～

スケジュール

4月:第1回ミーティング



6月:第2回ミーティング



8月26日:第3回ミーティング

10月:第4回ミーティング

12月:第5回ミーティング

2月(予定):展示会

3月:第6回ミーティング

【対象者】:

伝統工芸品、地場産品、地域資源を活用した商品づくりをしており、「BtoC」(直接消費者に販売する)に取り組む、または取り組もうとする作り手の方。

大量生産、大量販売の時代が終わりを告げようとする、これからの時代においては、売ればよしとする考え方から脱却して、社会に豊かさを取り戻すためのモノづくりが求められています。

従来のように製品の素材や機能だけを訴えるのではなく、モノづくりやサービスの根底にある「仕事に対する想い」こそが、使い手との信頼関係を構築する原点と捉え、自分たちが信じる「本当の価値あるモノやコト」の評価を得ることが必要です。

使い手と作り手との接点としての展示会を開催し、ここで得られた評価から次の課題を見いだしてさらにステップアップを続けていく手法により、使い手の共感を得る姿勢を大切にしながら、永く愛されるロングセラー商品づくり、そして、個々のファンづくりを目指します。

三重県

雇用経済部地域資源活用課
〒514-8570 津市広明町1 3番地
TEL059-224-2336

内 容

「ファンづくりをしたい」— 同じ想いを持つ作り手が集まり、互いに切磋琢磨しあうことで、商品だけでなく、“人となり”や“仕事に対する姿勢や想い”、その“表現方法”なども含めブラッシュアップし、永く愛されるロングセラー商品づくりを目指します。

ブラッシュアップミーティング

- ・ロングセラー商品づくりには、商品の素材や機能を訴えるのではなく、使い手の共感を得ながら、互いに信頼関係を築くこと（＝ファンづくり）が重要です。
- ・そのために必要な“使い手が必要とする商品づくり”、“作り手の想いの整理”、“使い手と対話しやすい展示方法”等について、アドバイザーを交えながらブラッシュアップを図ります。

展示会（開催予定：2月中旬 場所：新宿パークタワー）

- ・商品だけでなく、設えや佇まいも含めた作り手の世界観を披露し、自分たちの“モノづくりに対する姿勢や想い”について評価を得る場と位置づけ、ファンづくりに挑戦します。
- ・こだわりのある消費者が、どのような感覚で欲しいものを選択するのかを理解し、そこで得られた評価から次の課題を見出します。

※展示会は、第1～5回のミーティングでブラッシュアップしてきたことの成果を試す場と位置づけておりますので、原則出展をお願いしております。

アドバイザー



川野正彦氏（スタイルジャパン研究所／プロデューサー）

1992年から生活関連分野のマーケティングプロデューサーとして活動。「生活の視点」を大切に、ジャンルやスタンスにこだわらないブランディングやデザイン活動を行っている。奈良県や滋賀県（信楽焼）等の地域産業のブランド創りに専門家として関わっている。

小野恵美子氏（EMK デザインスタジオ 主催／ライフスタイルコーディネーター）
多摩美術大学卒業。都内百貨店リビングフロアコーディネーターを経て、現在EMKデザインスタジオ主催。とりわけ産地産業における生活工芸の啓蒙に深く関わる。

契約企業の商品企画・開発・デザイン・MDP／店舗スタイリング／ホテルプロモーション企画／企業のデザイン・コンサルティング・人材教育／産地産業振興プロジェクト産地プロデュース／等、各分野で活動。



内田鋼一氏

1992年四日市市に築窯。2000年「うつわをみる 暮らしに息づく工芸」展（東京国立近代美術館）など、国内外で多数個展開催。その作品は国内だけでなく、海外において高い評価を得ており、メディア、デザイナー等の様々な分野で活躍する方々とのネットワークがあり、販路開拓のコーディネート力に高い評価がある。